

ベステラ [1433・100 株] 9月2日 東証マザーズ市場上場

2015年8月12日(水)
更新: 10時7分
株式会社フィスコ

プラント解体を手掛けるマザーズ案件

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	——
初値投資	——
初値メド	——

プラント解体工事に係るエンジニアリング及びマネジメント業務を手掛ける。産業競争力強化、エネルギー供給構造高度化等の各種政策により、企業の設備投資に伴う解体工事案件は増加傾向にあるという。

市場の注目度	★★
想定仮条件レンジ	2400円～2500円
予想PER	11.8倍～12.3倍
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	2000円～4000円
予想PER	9.8倍～19.6倍

※★印は5段階評価

マザーズ上場の小型案件だが、プラント解体工事のエンジニアリング事業はIPO人気の高まりやすい事業内容とは言い難い。足元ではIPO案件の初値買いにおいて銘柄選別色が改めて強まっている。

公開規模については7億円強となる見込み。株主構成上も需給面は良好と言えるが、9/2はSTUDIOUS<3415>がマザーズに同時上場するため、資金分散の影響には注意する必要がある。

日程

仮条件提示	8月11日
ブックビルディング期間	8月13日～8月20日
公開価格決定	8月21日
申込期間	8月25日～8月28日
払込日	9月1日
上場日	9月2日

類似会社 3社

平均PER	13.8倍	→	2,813円
太平電業<1968>	16.9倍(連)	→	3,445円
山九<9065>	15.3倍(連)	→	3,119円
ジェコス<9991>	9.1倍(連)	→	1,855円

(PERは8月10日終値の会社側予想ベース)



銘柄紹介

ベステラ [1433・100 株] 9月2日 東証マザーズ市場上場

2015年8月12日(水)
更新: 10時7分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2012/4	1,522	—	46	—	32	—
2013/4	1,452	-4.6%	▲ 2	—	▲ 2	—
2014/1	2,056	—	178	—	110	—
2015/1	3,060	48.8%	388	118.5%	219	99.2%
2016/1 予	3,700	20.9%	439	12.9%	254	15.5%
2015/4 1Q	1,284	—	250	—	156	—
予想 EPS/配当		単独: 203.85 円(上場時発行済株式数で試算) / -円				

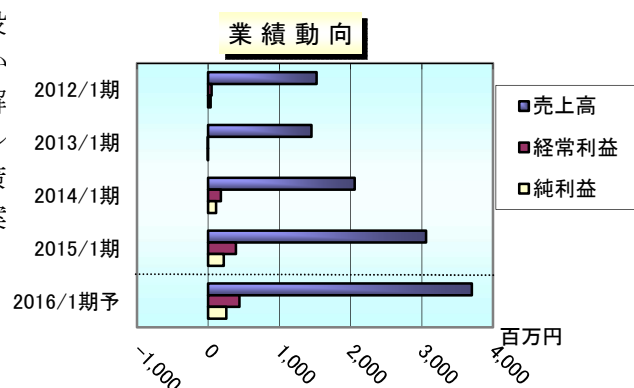
業績コメント

2016年1月期の業績は、売上高が前期比 20.9%増の 37.0 億円、経常利益が同 12.9%増の 4.3 億円と増収増益の見通しとなっている。

足元の建設業界は、円安に伴う建築資材の高騰や、建設技能労働者の慢性的な人手不足による労務単価の上昇等の不安材料は残るものの、企業収益改善による設備投資の増加等の理由により、継続的に緩やかな回復基調で推移した。また、プラント解体分野においても産業競争力強化、エネルギー供給構造高度化等の政府の各種政策により、企業の設備投資に伴う解体工事案件は引続きの増加傾向で推移している。

このような状況のもと、同社の第1四半期の業績は、受注、施工ともに堅調に推移した。

なお、通期計画に対する第1四半期末時点の進捗率は、売上高 12.8 億円で 34.7%、経常利益 2.5 億円で 56.9%となっている。



銘柄紹介

ベステラ [1433・100 株] 9月2日 東証マザーズ市場上場

2015年8月12日(水)
更新: 10時7分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

基本概要

所在地	東京都墨田区江東橋四丁目
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 吉野 佳秀(昭和16年5月17日生)
設立	昭和49年2月20日
資本金	9192万円(平成27年7月29日現在)
従業員数	39人(平成27年6月30日現在)
発行済株式数(上場時)	1,246,000株(予定)
公開株式数	公募220,000株 売出40,000株 (オーバーアロットメントによる売出39,000株)
想定公開規模	7.2億円~7.5億円(OA含む)
事業内容	プラント解体工事に係るエンジニアリング及びマネジメント業務

売上高構成比率 (2015/1期実績)

品目	金額	比率
プラント解体事業	3,003 百万円	98.1 %
その他	57 百万円	1.9 %
合計	3,060 百万円	100.0 %

幹事証券団 (予定)

	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	東海東京証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定
幹事証券	日本アジア証券(株)	未定	未定
幹事証券	エイチ・エス証券(株)	未定	未定

銘柄紹介



新規公開株レポート

ベステラ [1433・100 株] 9月2日 東証マザーズ市場上場

2015年8月12日(水)
更新: 10時7分
株式会社フィスコ

大株主上位 10 位			
順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	吉野 炳樹	266,800 株	23.45 %
2	TERRA・ESHINO株式会社	240,000 株	21.10 %
3	ベステラ従業員持株会	147,200 株	12.94 %
4	吉野 炳次	48,000 株	4.22 %
4	塚本 かや	48,000 株	4.22 %
6	吉野 佳秀	36,800 株	3.23 %
7	小坂 幹博	22,000 株	1.93 %
7	五代 俊昭	22,000 株	1.93 %
9	稲田 征穂	20,000 株	1.76 %
10	森分 志賀子	13,200 株	1.16 %
合計		864,000 株	75.94 %

その他情報		
手取金の使途	プラント解体事業における特許工法の実証実験費用として、溶断ロボットの新型アタッチメント開発費として、移動体ロボットの本格的な設計費として、解体BIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)ソフトの開発費・3D計測機器の購入費として充当し、残金をその他広告宣伝・採用費として充当する予定。	
関係会社	-	
VC売却可能分(推定)	-社 -株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	2015年4月30日
	割当先	ベステラ従業員持株会
	発行価格	563円 ※株式分割を考慮済み

ベステラ [1433・100 株] 9月2日 東証マザーズ市場上場

2015年8月12日(水)
更新: 10時7分
株式会社フィスコ

銘柄紹介

製鉄・電力・ガス・石油等あらゆるプラントの解体工事を展開している。プラント解体に特化した工事業者として、長年にわたるプラント解体工事を通じて得られた経験と、その間に蓄積してきたノウハウやアイデアをもとに、工法の提案、設計、施工計画、外注・資機材手配、施工管理、安全管理、原価管理、資金管理および行政対応等のエンジニアリング全般を提供している。また、同社の設計、施工計画に基づいた工事の管理監督を行い、施工については専門の協力会社に外注している。

「リング皮むき工法」や「ボイラの解体方法」に代表される同社独自の特許による解体工法の開発に加え、PCB・アスベスト・ダイオキシン等、有害物除去に関する豊富なノウハウや経験を有しており、コスト・工期・安全性に優れ、併せてスクラップ等の再利用・再資源化や環境対策にも十分に配慮しつつ、さまざまなプラント解体工事を提供している。

ほか、プラント解体トータルマネジメントの強化を目的として、建設技能労働者の慢性的な人手不足に対応するため、2013年1月より人材サービスを開始している。

さらに、プラント解体事業における事前調査等の強化を目的として、BIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)対応の3D-CADソフトを活用した3D計測サービスを、2015年1月より開始している。

■顧客との契約形態

(1) 解体工事の契約形態

プラントの解体工事は、製鉄・電力・ガス・石油等のプラントを有する大手企業が施主であり、その系列の設備工事会社あるいは大手ゼネコンが工事を元請けし、同社が一次下請け、二次下請けとなる場合が主となっている。

また、同社が元請けとなる場合もある。プラント解体工事では、通常、工事の進行に伴ってスクラップ等の有価物が発生し、それを解体工事業者が引き取って(同社が業者に売却して)いる。同社では、受注に際して有価物の価値を材質、量、相場(鉄、ステンレス、銅等の材質ごとの相場)等から総合的に見積り、それを反映する形で交渉し、請負金額を決定している。有価物は現場から都度搬出し、スクラップ業者等に売却している。また、会計上では有価物の売却額は解体工事に伴う収益の一部と考えられることから、完成工事高に含めて計上している。なお、発注者(施主)が独自でスクラップ等の処分(売却)を行う意向の場合もある。

(2) その他の契約形態

その他、人材サービスについては、派遣社員を必要とする顧客企業へ、同社が雇用、教育した人材を派遣する一般的な契約形態となっている。

ベステラ [1433・100 株] 9月2日 東証マザーズ市場上場

2015年8月12日(水)
更新: 10時7分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資のポイント

マザーズ上場の小型案件だが、プラント解体工事のエンジニアリング事業は IPO 人気の高まりやすい事業内容とは言い難い。最近の原油価格の下落によるプラント関連企業の事業環境の悪化イメージも逆風となる可能性がある。足元では IPO 案件の初値買いにおいて銘柄選別色が改めて強まっている。

同社は、製鉄・電力・ガス・石油等あらゆるプラントの解体工事を展開している。プラント解体に特化した工事業者として長年にわたって得てきた経験と、その間に蓄積してきたノウハウやアイデアをもとに、工法の提案、設計、施工計画、外注・資機材手配、施工管理、安全管理、原価管理、資金管理及び行政対応等のエンジニアリング全般を担っている。施工については専門の協力会社に外注している。産業競争力強化、エネルギー供給構造高度化等の各種政策により、企業の設備投資に伴う解体工事案件は増加傾向にあるという。

業績面について、2016年1月期は売上高が前期比20.9%増の37.0億円、経常利益が同12.9%増の4.3億円と増収増益の見通しとなっている。第1四半期の高進捗も材料視される可能性がある。想定仮条件水準の今期予想PERは12倍程度で、類似企業と比較してやや割安感がある。

公開規模については7億円強となる見込みで、マザーズ案件としても比較的小型に位置付けられる。少数株主が多いものの、ベンチャーキャピタル保有株は確認されず、株主構成上も需給面は良好と言える。ただ、9/2はSTUDIOUS<3415>がマザー

ズに同時上場するため、資金分散の影響には注意する必要がある。

銘柄紹介

ベステラ [1433・100 株] 9月2日 東証マザーズ市場上場

2015年8月12日(水)
更新：10時7分
株式会社フィスコ

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

《 重要事項(ディスクレーム) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ

■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

■ 手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会